



第78回

私のスケッチブック

「フルヴィエールの教会堂」

リヨン (フランス)



リヨンの街並みを望む、フルヴィエールの丘に佇む「フルヴィエールのノートルダム大聖堂」を描いています。見上げる構図を描くのは初めてですが、難しいモノです。パリのサクレクール寺院とよく似た、丘の上にある教会のリヨン版と思ってください。この教会は珍しくゴシック建築でなく、ロマネスクとビザンチン様式のバシリカ式教会堂です。

この教会を訪ねるには、行きは山の麓からケーブルカーを利用して、帰路は下り道を散歩される事をお勧めします。ケーブルカーは、地下鉄やバスと同じカルネ(回数券)で気軽に利用出来ます。山頂の駅のほぼ正面から、この立派な教会が目飛び込んできます。17世紀のバスタード大流行からリヨンの町を護ったのは、マリア様のお蔭と信じられ、感謝を込めて小さな聖堂が建てられたとのこと。聖堂を囲む四つの尖塔と鐘楼は、それぞれ「力」「慎重」「正義」「節制」を意味し、

鐘楼の先端には黄金に輝く聖母マリアの像が設置されています。

山頂の展望台からは、リヨンの街並みを180度のパノラマでお楽しみください。眼下にサン・ジャン教会、そしてローヌ川およびソーヌ川を望み、遠くはTGV駅のパールデュエー駅まで見渡せますから感動します。

この丘は旧市街地へと繋がっています。古代ローマ時代の競技場跡や発掘中の遺跡群を観光しながら、曲がりくねった坂道を下っていくと、時々階段が現れますから「さあ〜どちらに行こうか?」。おそらく住宅街の庭先を迂回して下るのだらうと思いながら…、路上駐車が続く坂道をキョロキョロ。不審者と見間違えられない事を祈りながら街中まで下ります。ああ〜お腹が空いた。道端の露店でサンドイッチとCaféを注文。

延原 慎吾



1946年、岡山県生まれ。現在、東京都内在住。物流会社を経営するかたわら欧州物流コンサルタントとして渡欧の際、歴史的建造物及び風景の美しさに魅せられて水彩画を始める。
2017年開催「第68回 全国カレンダー展」に9度目の入選を果たし、その実力を発揮する。
<http://www.urban.jp/home/nobu36>

水彩画 延原

検索